

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

# KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <https://kumamoto-fa.net/>

2021.3  
SPRING No.19

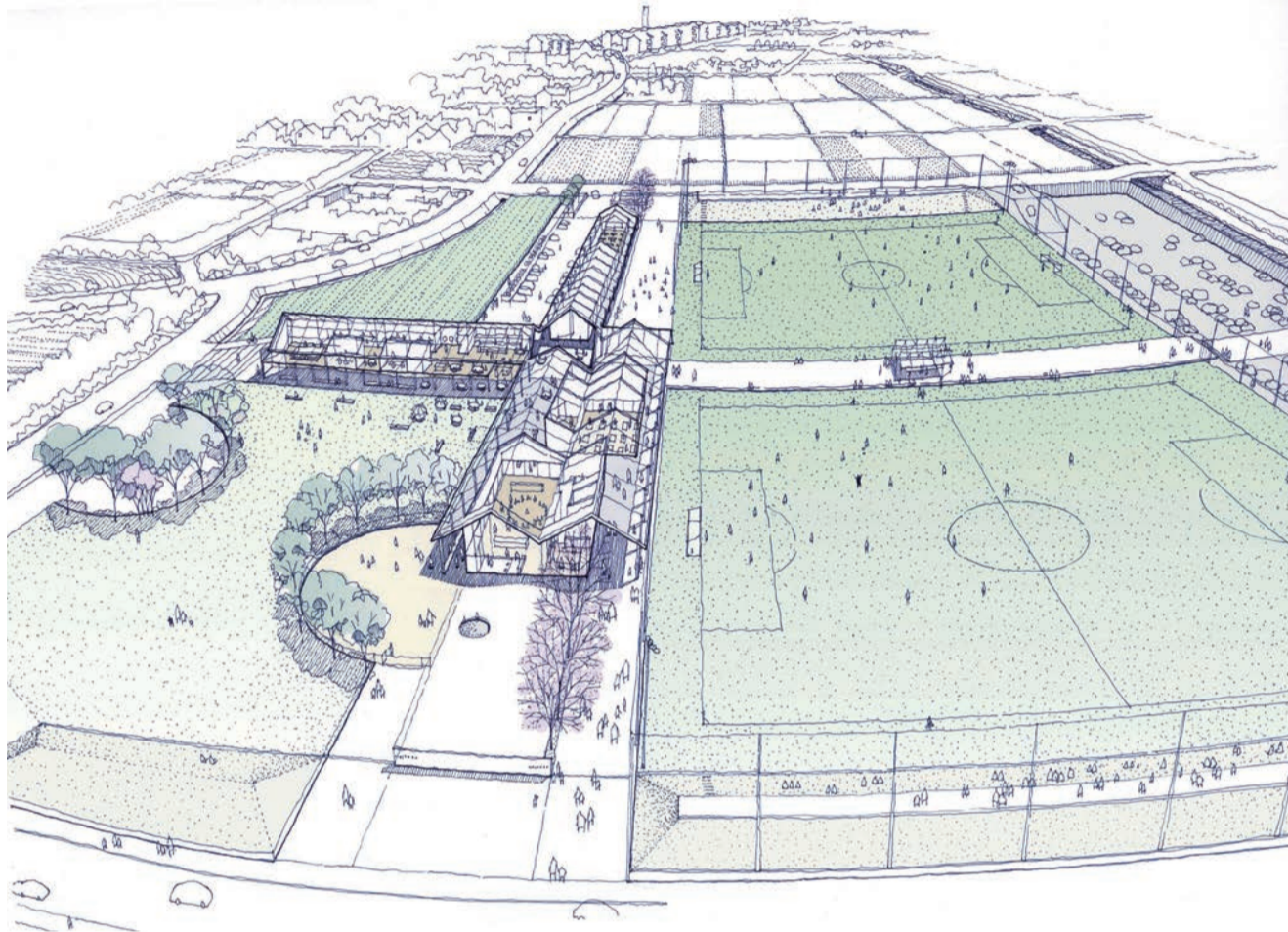
熊本県サッカー協会広報紙

2021年3月31日発行 通算第103号

発行者/一般社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会

## キッズからシニアまでが集う スポーツ文化の発信拠点に

特集



熊本県サッカー協会  
会長 前川 隆道

## 熊本県フットボールセンター(仮称) 2022年夏完成に向けスタート

「熊本県フットボールセンター(仮称)」の建設は、2015年の田川前会長就任時から熊本県サッカー協会(KFA)の中期目標の一つで、「熊本県を全国で有数のサッカー王国に育てる」と並び、協会の悲願とも言える事業です。

2016年の熊本地震、さらに昨年にはコロナウイルス感染拡大など、さまざまな困難に見舞われながら、一歩ずつ着実に準備を進め、嘉島町のご協力を得て、今回ようやく建設計画を皆様にお知らせできる運びとなりました。

同センターは、単にサッカーファミリーのためのグラウンドというだけでなく、保育園、カフェ、コワーキングスペースなども併設する複合施設として、近隣住民の方々や他のスポーツも交えたスポーツ文化の発信拠点として整備する計画です。

今回のように、都道府県協会が単独で専用競技場を建設・運営するという事業は全国的にも珍しく、センターがKFAにとって「熊本を全国有数のサッカー王国にするための拠点となるだけでなく、地域にサッカー&スポーツ文化を根付かせるうえでのモデルケースとしても注目を集めることになると考えています。

こうした施設は、完成が「ゴール」ではなく、完成を「スタート」として、どのように活用していくかが重要です。その意味で、今後はサッカーファミリーをはじめ、多くの皆様のご意見を取り入れながら運営を行っていきたく思います。一方で、コロナ禍で社会経済が疲弊している中、建設には資金面を含め多くのハードルもあり、寄付や出資などを通じた皆様の支えが必要です。チーム・指導者から呼び掛けの際は、何卒ご協力のほどよろしくお願い致します。

完成は来年8月の予定ですが、私はずすでにセンターのグラウンドで次世代の日本サッカーを担う子どもたちが楽しくボール蹴っている姿を想像しています。さらに、キッズからシニアまで、さまざまな世代の交流の場になることも期待しています。完成の暁には、ぜひ皆様も足を運んでいただきますようお願いいたします。

### 用具の貸出を行っています!

熊本県サッカー協会では、所属チームやクラブ、都市協会などへ、マイクロバスやサッカーゴール(少年用)、フットサルゴール、自動体外式除細動器(AED)などの用具貸出を行っています。ご希望の方は、県協会事務局(☎096-247-6980)までお問い合わせください。

※一部使用料・協力金をいただきます。  
※貸出用具の一部はtoto助成事業にて購入しています。

アレがない...  
コレがない...

貸出用具の一例

AED(自動体外式除細動器) 移動用マイクロバス(29人乗り)

貸出用具の詳細などは熊本県サッカー協会ホームページでご確認ください

## KFA NEWS

熊本県サッカー協会広報紙

### 広告協賛募集中

熊本県サッカー協会では、熊本のサッカー情報や活動状況をより多くの皆様にお伝えするために、本協会に所属していただいている会員(チーム)向けに機関紙「KFA NEWS」を発行して参りました。

2015年度から、さらなる紙面の充実と親しまれる広報誌にするために「KFA NEWS」のリニューアルを行い、広告協賛を募集しております。

仕様: タブloid版・8ページ 横273mm×縦406mm  
発行部数: 5,000部/1回  
配布対象: 会員(約600チーム)、公共施設、スポーツ施設、各種イベント

詳細は熊本県サッカー協会ホームページよりご確認ください。

# 特集 熊本県フットボールセンター(仮称) 2022年夏完成に向けスタート

## 地域に開かれた施設として 熊本のスポーツ文化醸成に寄与

いよいよ始まる熊本県フットボールセンター(仮称)の建設。本格着工を前に、紙面を通してサッカーファミリーの皆様へ、これまでの経緯やセンターの概要のほか、建設資金の内訳などをお知らせします。

### 「持続」と「醸成」をコンセプトに運営



(株)熊本フットボールセンター 代表取締役 松下 涼太

「熊本県フットボールセンター(仮称)」は、嘉島町が用地を取得・造成後、KFAが施設を建設します。施設完成後にグラウンドや収益施設の運営を行うのは、KFAが出資する100%子会社「株式会社熊本フットボールセンター」です。

同センター設立の大きな柱の一つは、「熊本県を全国で有数のサッカー王国に育てる」ための拠点づくりです。しかし、センター運営にあたっては、それだけにとどまらず、「持続可能であること」と「スポーツ文化の醸成」という2つのコンセプトを掲げています。

施設の維持管理費用を自治体だけに依存することなく、幼稚園、カフェ等の収益施設を通じて、様々な機能を持つことで、

長期に亘って持続可能な施設を目指します。また、サッカーグラウンドとしてだけでなく、さまざまな世代がスポーツを媒介にして豊かな時間を過ごせる場にする事で、熊本のスポーツ文化を醸成していきたいと考えています。

加えてセンターでは、立地する嘉島町をはじめとする近隣地域とのつながりも重視しています。カフェやコワーキングスペースなどの利用を通じてサッカー以外の目的でも人々が集う場にしていくのももとより、出店する店舗などの事業パートナーも、できるかぎり地域の方たちにお金を循環する仕組みを作ることも目標としています。

「熊本県フットボールセンター(仮称)」では、立地する嘉島町をはじめとする近隣地域とのつながりも重視しています。カフェやコワーキングスペースなどの利用を通じてサッカー以外の目的でも人々が集う場にしていくのももとより、出店する店舗などの事業パートナーも、できるかぎり地域の方たちにお金を循環する仕組みを作ることも目標としています。

### 「熊本県フットボールセンター(仮称)」では、こんなことを行う予定です!

「熊本県フットボールセンター(仮称)」は、単にサッカーグラウンドとしてだけでなく、さまざまな活動や交流の拠点となる複合施設を目指しています。きっと皆さんのライフスタイルに合った使い方が見つかると思います。

土日・祝日はKFA主催大会、公式戦を中心に使用。平日はさまざまなカテゴリーのチーム活動やサッカーだけでなく、他のスポーツでの活用を計画しています。

シェアオフィスやコワーキングスペースを設置。オフィスとしての定期利用はもちろん、テレワークや副業のためのワークスペースなどに活用してもらうなど、異業種・多世代の交流拠点を目指します。



### 熊本のサッカーの未来への投資 寄付・出資で9,000万円を集めます!

2022年8月オープン予定の「熊本県フットボールセンター(仮称)」の建設には、多額の費用が必要になります。建設費は6億円を超えますが、今回の計画ではそのうち約9,000万円を寄付および投資(出資)によって集めることにしています。

現在、県出身のプロサッカー選手への呼び掛けを行っている一方、今後は県内外のサッカーファミリー、サッカーファンなどにも広く呼び掛け、より多くの方々から寄付・投資を募る予定です。今後、寄付・投資依頼のサイト立ち上げやチラシ配布を行っていきますので、ぜひご協力をお願い致します。

#### 「熊本県フットボールセンター(仮称)」建設資金の内訳

合計 6億1,400万円

寄付 3,000万円	協会自己資金 6,000万円
出資+投資 6,000万円	その他 JFA等補助金、銀行借入、助成金等 4億6,400万円
合計9,000万円	

### フットボールセンター建設の経緯と完成までの流れ

2015年からスタートしたフットボールセンター建設に向けた話し合いと準備。これまでの一連の経緯と、来夏の完成までの予定をお知らせします。

#### 2015(平成27)年

- 6月7日 田川憲生会長が就任。「熊本県を全国で有数のサッカー王国に育てる」、「熊本県フットボールセンターの建設」を目標に掲げる。
- 6月19日 JFA-47FA都道府県協会訪問会議にて「JFAサッカー施設整備助成事業」の概略について説明を受ける
- 8月10日 JFAサッカー施設整備助成事業についての勉強会の実施
- 11月4日 第1回フットボールセンター建設委員会開催
- 11月18日 臨時理事会にて「フットボールセンター建設委員会」設置決定
- 12月4日 第2回フットボールセンター建設委員会開催

#### 2016(平成28)年

- 1月26日 第3回フットボールセンター建設委員会開催
- 4月14-16日 熊本地震発生。以降、フットボールセンター建設委員会も一時中断

#### 2017(平成29)年

- 7月18日 第4回フットボールセンター建設委員会開催
- 8月30日 第5回フットボールセンター建設委員会開催

#### 2018(平成30)年

- 3月10日 株式会社AS 坂口氏から設立に向けた提案
- 8月17日 建設委員会にて協定書最終確認・マスタープランの確認
- 8月24日 第6回フットボールセンター建設委員会を開催し、マスタープランの説明・課題の確認
- 10月5日 第7回フットボールセンター建設委員会を開催。JFAを入れての計画について検討を実施
- 12月5日 第8回フットボールセンター建設委員会を開催。今後の方向性及び進め方の確認を行う
- 12月28日 熊本大学・田中先生、星野先生とのプレストを実施

#### 2019(平成31・令和元年)

- 4月~ 各種見積開始。並行して事業計画のブラッシュアップを行う
- 6月9日 前川隆道会長が就任。「熊本県を全国で有数のサッカー王国に育てる」、「熊本県フットボールセンターの建設」を実現に向けて前進していく事を表明
- 7月26日 第10回フットボールセンター建設委員会を開催。設計事務所と契約し、具体的な建設計画を作成していくことを決定
- 10月24日 第11回フットボールセンター建設委員会開催

#### 2020(令和2)年

- 3月31日 金融機関との交渉開始
- 5月13日 第12回フットボールセンター建設委員会開催
- 9月9日 第13回フットボールセンター建設委員会開催
- 12月16日 第14回フットボールセンター建設委員会開催 建設費及び寄付等について検討

#### 2021(令和3)年

- 2月1日 JFA須原専務理事と事業計画について意見交換
- 3月 嘉島町から設置管理許可受理
- 4月 寄付募集開始/工事開始
- 5月 ファンド募集開始
- 6月 保育園スタッフ募集(運営団体) フットボールセンタースタッフ募集

#### 2022(令和4)年

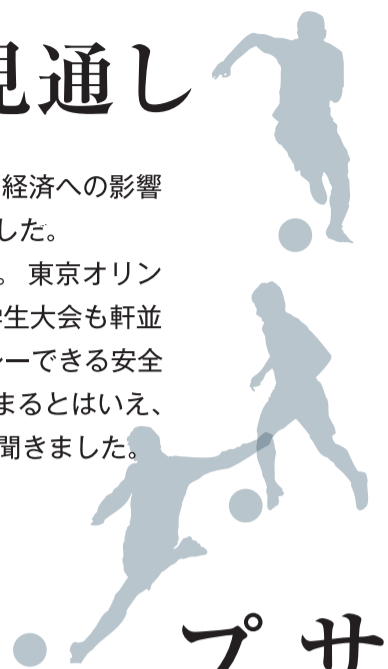
- 3月 企業主導型保育園開園
- 8月 熊本県フットボールセンター全体オープン

# 熊本県サッカー協会の新型コロナウイルス感染拡大防止対策

## コロナ禍での協会の対応や今後の見通し

新型コロナウイルス感染拡大から1年が過ぎました。この間、未知のウイルスによる私たちの生活や経済への影響は甚大で、飲食やイベントの自粛を含め、さまざまな場面で“新しい生活様式”を求められるようになりました。

また、コロナ禍の影響は市民生活や経済だけにとどまらず、スポーツ界にも多大な影響を与えました。東京オリンピックの1年延期をはじめ、各種プロスポーツの開幕延期や無観客試合開催、高校総体や甲子園などの学生大会も軒並み中止となりました。そうした中、熊本県サッカー協会でも、県内のサッカーファミリーが安心してプレーできる安全な環境づくりを目指し、昨年からさまざまな取り組みを行っています。まもなくワクチン接種なども始まるとはいえ、まだまだ収束に向けた先行きが見通せない中、今後の対応なども含め、当協会の今田周作専務理事に話を聞きました。



# サッカーファミリーが安心・安全にプレーできる環境を実現するために全力を



一般社団法人 熊本県サッカー協会 専務理事 今田 周作

昨年1月16日に、国内での初の感染者が確認されて以来、1年以上にわたって続いているコロナ禍。日本サッカー協会(以下JFA)からは、3月27日に各協会の主催事業の中止・延期を求める通知がありました。熊本県サッカー協会(以下KFA)ではそれに先立つ2月末から各種別からの問い合わせが増え、3月初旬から独自に大会等の中止・延期を判断。4月からはJFAのガイドラインに沿って判断するようになりました。

その後、一度目の緊急事態宣言が解除された5月以降、JFAが試合や大会再開に向けたガイドラインを出し、KFAでもその内容に沿って独自のガイドラインを作成しました。マスク着用や手指消毒など、新しい生活様式への対応はもちろんのこと、試合に関わる選手・スタッフには、試合2週間前からの健康チェックシート(資料1参照)への記入を義務付けました。また、主催者や運営側には、試合の準備

**JFAのガイドラインに沿って健康チェックシート記入などを義務付け**

現場での適切な対応を周知してきました。特に、一度目の緊急事態宣言が発出された昨年4～5月ごろには、練習しているチームを見た近隣住民からKFAへの問い合わせがあったこともありましたが、そうした注意喚起を行い、各チームが適切に対応している旨をご説明してご理解いただきました。

から当日・試合後までの感染対策チェックリスト(資料2参照)を渡し、必要な感染対策を実施しているかどうかを確認できるようにしました。これらに加えて、試合当日も参加する選手らにしっかりと目配りを行い、少しでも体調の悪そうな選手には声を掛け、参加を見合わせるよう促すなどの対応を行いながら、徐々に試合・大会の再開につなげていきました。ただ、ただだけ対策を講じていても、感染を100%防ぐことはできません。それでも、ガイドラインに沿った対策を打ち出すことで、選手・スタッフ、大会関係者に意識付けができることが大きいと考えています。

**現場での適切な対応を周知してきました。**

また、チェックシートなどの記録を残しておくことで、万一感染者が出た場合の追跡などに役立ちます。こうした対策を行いながら、KFAでも昨年の下半期はなんと予定していた大会や行事をほぼ予定通り開催することができました。これも、サッカーファミリーの皆さんのご協力とご尽力の賜物です。ただ、まだまだ県をまたいだ試合や大会となるとハードルも高く、さまざまな制約もあります。さらに、大会やイベントが開催されることで、「開催されるからもう大丈夫なのだろう」という気の緩みが出ないとも限りません。そうした部分の引き締めも図りながら、今後も皆さんにとって安心・安全な環境をどう実現していくかは、KFAにとって大きな課題です。

今回のコロナ禍、これから収束へ向かうのか、それともまた感染が再拡大するのか、全く状況が見通せません。しかし、「今後もしこうした事態が起こりうるかもしれない」という意識が私たちの中に芽生えたことは間違いありません。これまでは考えもしなかった「with コロナ」の状況を当たり前に捉え、その中でできることを考えながらやっていくことが重要だと考えています。さらに、感染の再拡大や新たな感染症のまん延など、何が起ころうもおかしくない状況を念頭に置き、「何か起こった時の対応」ではなく、それに備えるリスクマネジメントとして準備をしておく必要があると思います。

**今回のコロナ禍、これから収束へ向かうのか、それともまた感染が再拡大するのか、全く状況が見通せません。**

私自身もシニアで一プレーヤーとしてサッカーを続けているので、今回のコロナ禍の中で「サッカーができる喜び」を身をもって経験し、スポーツの大切さやありがたみを再認識しました。それだけに、KFAとしても若い世代の皆さんには、できるだけ試合・大会、そして普段の練習ができる環境を整えていければと思っています。今後の感染状況によっては、また皆さんにご不便やご苦勞をお掛けすることもあると思いますが、サッカーファミリー一丸となってこの難局を乗り切っていくようにしましょう。

**今の状況でできることを模索しながら常にリスクマネジメントを念頭に**

### 資料2/感染対策チェックリスト

試合前日までの準備段階から試合当日、さらに試合後までの確認事項、約70項目を列記したチェックリスト。



### 資料1/個人健康チェックシート

試合やイベント参加に際して選手、スタッフ等に提出を義務付けている「個人健康チェックシート」。開催の2週間(14日間)前から当日朝までの体温や健康状態を記入して、当日提出。





# 子ども達の「未来」のために、「今」を変えるのが大人の役目



まずは令和2年度の2種年代の振り返りから聞かせてください。新型コロナウイルスの感染拡大が、大会運営にも影響を及ぼしたと思います。

厚 昨年3月から学校が休校になり、高校総体が開催できないということが決まりました。全国大会がなくなりましたので、県大会も開催できませんでした。

—熊本県サッカー協会(KFA)の2種委員会、高体連の専門委員会として、どう対応したのでしょうか。

厚 休校期間中で、代替大会開催が決まったのも本来の高校総体の日程の後でした。高体連からは、「やり方は各種目に任せる」との通知がありましたが、サッカーの場合、バス移動や遠方の学校だと宿泊も伴うため、全校が出席する県大会は難しいと判断しました。例年、高校総体前に行っている地区大会もできてい

新型コロナウイルスの感染拡大により、熊本県内の各種年代の大会もさまざまな影響を受けました。今回は、熊本学園大学付属高校サッカー一部監督で県高体連のサッカー競技専門委員長を務める厚晴仁さん、宇城市教育委員長で県立大津高校サッカー一部総監督の平岡和徳さんのお2人に、令和2年度の2種年代の大会運営の振り返りと合わせ、これからの指導者に求められることなどについて語っていただきました。

## 「2種の先生方や保護者の皆さんの協力で大会を運営することができました」



**厚 晴仁さん**  
あつ はるひと  
1975年8月2日生まれ。北部町(現熊本市)出身。熊本商大付属(現熊本学園大付属)高時代、GKとして全国高校サッカー選手権大会に出場しベスト8。東四国国体少年男子でベスト16に進出。福岡大学卒業後、母校である熊本学園大付属高校で非常勤講師を5年間務めたのち、2002年4月より同校教諭。2009年より熊本県高体連専門委員、2020年より熊本県高体連専門委員長を務める。

—まず令和2年度の2種年代の振り返りから聞かせてください。新型コロナウイルスの感染拡大が、大会運営にも影響を及ぼしたと思います。

厚 昨年3月から学校が休校になり、高校総体が開催できないということが決まりました。全国大会がなくなりましたので、県大会も開催できませんでした。

—熊本県サッカー協会(KFA)の2種委員会、高体連の専門委員会として、どう対応したのでしょうか。

厚 休校期間中で、代替大会開催が決まったのも本来の高校総体の日程の後でした。高体連からは、「やり方は各種目に任せる」との通知がありましたが、サッカーの場合、バス移動や遠方の学校だと宿泊も伴うため、全校が出席する県大会は難しいと判断しました。例年、高校総体前に行っている地区大会もできてい

かったので、「3年生のためにやってあげなければ」との思いもありました。開催期間が長くなると、その間に感染が拡大して途中で打ち切らざるを得なくなる可能性もあります。さらに、例年の高校総体より1カ月近く遅い開催なので、受験準備への影響を最小限にできるように、7月の4連休で完結できる日程を組み、地区大会形式で開催することにしました。

—平岡先生が総監督を務める大津高校が参加している「高円宮杯U18プレミアリーグ」は、

高体連ではなく日本サッカー協会主催です。昨季はスーパープリンスリーグという形で開催されましたが、どのような経緯で決まったのでしょうか。

平岡 当初は例年通り開催する方向でした。しかし、日本サッカー協会の田嶋幸三会長の感染によってサッカー協会自体がクローズしてしまい、「運営としても全国をまたいでの開催は難しい」ということになりました。ただ、プレーヤーズファーストの考え方で「どうすれば開催できるか」を検討し、「県をまたぐ移動を最小限にして、なんとか地域ごとに試合環境を作ろう」という方向でまとまりました。そこで、プレミアリーグ参加チームを各地域のプリンスリーグに組み込み、地域ごとに開催することになったわけです。

—厚先生から「3年生のためにやってあげたい」との話がありました。先生方にも柔軟な発想が求められたわけですね。

厚 3年生の多くは高校総体で部活動を引退するので、「何が生徒たちのためになるのか」「3年生が揃ってプレーできる、区切りになる機会を作ってやりたい」という思いは、各校の先生方も持っていましたと思います。

平岡 日本サッカー協会でもずっと言われていたのは、「こういうときこそ大人が知恵を絞り出そう」ということ。多くの種目がある高校総体で足並みを揃えるのは難しかったと思いますが、サッカーはチーム

ワークも良く、日本サッカー協会が早く試合を開催する際のガイドラインを出すなど、他の競技団体より比較早かつスムーズにコロナ対策が取れていたと思います。また無観客とはいえ、プロ野球とJリーグ、大相撲などがスタート(または再開)していたことも、スポーツ界にとって大きなプラスだったと思います。

—運営面で工夫した点や、開催して出てきた改善点などはあったのでしょうか。

厚 日本サッカー協会のガイドラインに基づき、無観客で行うことは難しくありませんでした。しかし、3年生にとって最後の大会になるので、「ぜひ保護者に見てもらいたい」という思いがあり、「どうすれば観戦可能な形で開催できるか」ということからスタートしました。感染防止対策として、検温や入口での手指消毒、観戦時のソーシャルディスタンス確保に加え、先発メンバーの試合前検温なども徹底しました。その結果、代替大会が実施でき、「これなら選手権大会も観客ありで開催できる」という手応えを掴めました。感染者を出さず無事に大会を終えられたことで、「こういう対策を取れば(大会を開催できる)」というノウハウができたことが大きかったですね。2種の先生方や保護者の皆さんに理解・協力していただき、その後の冬の高校選手権大会を滞りなく運営できたことにも、大変感謝しています。

平岡 感染のリスクをゼロにすることはできませんが、一人一人の努力で軽減はできます。その努力を積み重ねることで、「みんなにとってハッピーだから、みんなで協力しましょう」「プレーヤーズファーストの中で構築してきた新しい生活様式を最後までやりましょう」となっていくのが、スポーツでの

## 「苦しいことを避けてはチャンレンジしなく、その人間力を作るのが重要」



**平岡 和徳さん**  
ひらおか かずのり  
1965年7月27日生まれ。松橋町(現宇城市)出身。豊川小、松橋中を経て帝京高(東京)へ進み、3年時に主将として全国高校サッカー選手権大会で優勝。筑波大学卒業後、熊本県教員となり、県立熊本商業高校に赴任。5年間勤務ののち、1993年に県立大津高校に異動となり、多数のプロ選手や日本代表選手を育成。2017年より、宇城市教育長として地域の教育行政に関わる傍ら、大津高校サッカー一部総監督も務める。

(平岡)

—苦しいことを避けてはチャンレンジしなく、その人間力を作るのが重要

平岡 いろいろな特色を持ったチームが県内にあれば、子どもたちの選択肢は広がります。しかし、自分に合った学校が県内にはないと感じる子は、県外の高校やJユースを選ぶでしょう。しかしそれは、「ここにいけば自分が変化できる」という15歳の決断ですから、県外流出を問題視するのはナセンス。日本のサッカーが良くなるためには、アスリートパフォーマンスを上げるのが第一。現に今は、若くて才能のある選手たちには海外へ行くことも勧めているわけですから。そんな時代には県外流出を問題視するのは、とても視野の狭い話だと感じます。

—では「サッカーと教育」という観点で、大人の入り口である2種年代の高校生たちに身に付けてほしいこと、そのために教員・指導者としてどう関わるべきかを聞かせてください。

厚 子どもたちは、これから先、何が起ころるか分からない社会を生きていかなければいけません。そこで本校では、総合学習の時間を使い、自分自身で興味を見つけ、そこから新しいものを作り出す「深学科プログラム」に学校全体で取り組んでいます。部活動の中でも、生徒が自分たちで課題を見つけて解決策を考え、私たちはそれを手助けするイメージです。私自身、若い頃は「生徒にやらせることが多かったですが、これからの時代を生きていくために、いかに自分から積極的に取り組むか、常に考えていきたいと思っています。

平岡 日本より速いスピードで動き始めている世界の状況をきちんと検証しながら、その場にあった判断をしていくことが重要です。いかに子どもたちに安心安全な場を提供しながら、好きなサッカーができる環境を作れるか。私たちが「今」を変えなければ、子ども達の「未来」は変わりません。日常の「新しい生活様式」の中に、サッカーを通しての新しいスポーツ文化が成熟していくことを期待しています。

—中学生が県外の高校やJクラブのアカデミーに進むことについての意見を聞かせてください。

平岡 私が「県外流出組」という呼称の入り口を作った張本人です(笑)。確かに県外への選流出はありますが、逆に他県からの流入も増えています。秀岳館高校のようにブラジル人や韓国人留学生を受け入れたり、私立高校ならではの独自のカラーがあります。そうした中で、厚先生の学園大付属高校もソレソ熊本との繋がりがあったり、秀岳館も地域のクラブチームを持っています。そうやって、青森山田高校に代表される「中高一貫指導」を謳う学校は、力を付けてきていますね。

厚 確かに本校は、(他校に比べて)ソレソ出身の部員が多いです。ただ、特待制度もありませんし、入試の点数が足りずに止むを得ず他校に進む子や、Jユースからスカウトされて県外に行く子もいます。そうした中で、ユースがあつた子たちは本校を選んで来てくれたので、ありがたいと思っています。

—中学生が県外の高校やJクラブのアカデミーに進むことについての意見を聞かせてください。

平岡 私が「県外流出組」という呼称の入り口を作った張本人です(笑)。確かに県外への選流出はありますが、逆に他県からの流入も増えています。秀岳館高校のようにブラジル人や韓国人留学生を受け入れたり、私立高校ならではの独自のカラーがあります。そうした中で、厚先生の学園大付属高校もソレソ熊本との繋がりがあったり、秀岳館も地域のクラブチームを持っています。そうやって、青森山田高校に代表される「中高一貫指導」を謳う学校は、力を付けてきていますね。

厚 確かに本校は、(他校に比べて)ソレソ出身の部員が多いです。ただ、特待制度もありませんし、入試の点数が足りずに止むを得ず他校に進む子や、Jユースからスカウトされて県外に行く子もいます。そうした中で、ユースがあつた子たちは本校を選んで来てくれたので、ありがたいと思っています。

平岡 いろいろな特色を持ったチームが県内にあれば、子どもたちの選択肢は広がります。しかし、自分に合った学校が県内にはないと感じる子は、県外の高校やJユースを選ぶでしょう。しかしそれは、「ここにいけば自分が変化できる」という15歳の決断ですから、県外流出を問題視するのはナセンス。日本のサッカーが良くなるためには、アスリートパフォーマンスを上げるのが第一。現に今は、若くて才能のある選手たちには海外へ行くことも勧めているわけですから。そんな時代には県外流出を問題視するのは、とても視野の狭い話だと感じます。

—では「サッカーと教育」という観点で、大人の入り口である2種年代の高校生たちに身に付けてほしいこと、そのために教員・指導者としてどう関わるべきかを聞かせてください。

厚 子どもたちは、これから先、何が起ころるか分からない社会を生きていかなければいけません。そこで本校では、総合学習の時間を使い、自分自身で興味を見つけ、そこから新しいものを作り出す「深学科プログラム」に学校全体で取り組んでいます。部活動の中でも、生徒が自分たちで課題を見つけて解決策を考え、私たちはそれを手助けするイメージです。私自身、若い頃は「生徒にやらせることが多かったですが、これからの時代を生きていくために、いかに自分から積極的に取り組むか、常に考えていきたいと思っています。

平岡 日本より速いスピードで動き始めている世界の状況をきちんと検証しながら、その場にあった判断をしていくことが重要です。いかに子どもたちに安心安全な場を提供しながら、好きなサッカーができる環境を作れるか。私たちが「今」を変えなければ、子ども達の「未来」は変わりません。日常の「新しい生活様式」の中に、サッカーを通しての新しいスポーツ文化が成熟していくことを期待しています。

県協会所属チーム紹介

Vol.13

# Pick-up! Football Family

このコーナーでは、熊本県サッカー協会に所属しているチームの中から、毎号紹介します。今後紹介してほしいチームも募集しています(自薦・他薦を問いません)。

## 活動を通じて社会や地域と関わり、一人一人の成長につなげる



- 1 競技者として九州選抜や日本代表を目指す人、楽しみながらプレーしたい人と、選手の目標はさまざま
- 2 インタビューに答えてくれた戸上さんの得意なプレーは「強烈なシュート」
- 3 基本的なパス練習に続き、チーム分けをしてゲーム形式のメニューへ。ゴール前の攻防も熾烈



### チームドラゴン

チャレンジド

- 設立/2008年
- 監督/湯原 徹
- 選手数/15名

(チーム沿革)

2008 (平成20年)

チーム発足

2015 (平成27年)

第1回ソーシャルフットボール九州地域大会3位



トレーニングは、同チームの活動に理解を示してくれた熊本市東区のエンブレント熊本スポーツクラブのグラウンドで実施しています

秋に行われるソーシャルフットボール全国大会に向けた九州予選と12月開催の九州・四国スカンピオカップ、春と秋の県内の大会が大きな目標ですが、何より参加している選手たちが楽しんで取り組むことを第一に活動しています。

「一個のボールさえあれば他者との関わりができ、技術的な習得度が低くても楽しめるというサッカーの競技特性を生かし、地域住民との交流などを通じて精神障がいを持つ方に対する偏見をなくすことにも取り組んでいます。」

統合失調症や発達障がい、躁鬱などの精神障がいを持つ人々を対象に、5人(＋女性1人)のチーム編成で、フットボールのルールに基づいて行われる「ソーシャルフットボール」。チームドラゴンは、益城病院に通院している方たちで2008年に発足した、県内のソーシャルフットボールチームの草分け的存在です。現在は県内在住で活動意欲のある人に広く門戸を開き、約15人の選手たちが週1回のトレーニングに汗を流しています。同チームの立ち上げに関わり、監督も務める益城病院勤務の湯原徹さんは「初期メンバーの中にはすでに自立した生活を送っている方もいて、(サッカーを通じて)働く意欲が生まれたり、コミュニケーション能力が上がるといった成果が表れています。選手のご家族からも『チームに出会えて良かった』と、嬉しい言葉をいただいています」と話します。

### Player's Comments

#### 「ソーシャルフットボール」って何?

他の障がいと比べ、精神障がい者のスポーツ参加率は極めて低く、その内容もレクリエーションの範囲にとどまっていた。病気になることから自分に自信が持てない、自分には価値がないと思ってしまう人も多くいます。そこでフットボールを通じて自信を持ち、仲間を持った人がモデルケースとなり、「自分にもできるかも」と思ってもらえるような好循環を広げていきたい。そんな思いを持って設立されたのが、「日本ソーシャルフットボール協会」です。

「ソーシャルフットボール」という名称は、イタリアで行われている calciosociale (英訳/ social football) に由来します。年齢・性別・人種・貧困・家庭環境・障がいなど、あらゆる違いを超えて社会連帯を目指したフットボール文化です。2011年に日本の精神障がい者フットサルチームが初の海外遠征をした際に calciosociale に触れ、その理念に敬意を表して協会名としました。現在はルールを一部修正したフットサルとして、各地で普及が進んでいます。

※特定非営利活動法人日本ソーシャルフットボール協会 HP より抜粋

#### 週1回の活動を楽しみに毎日を過ごしています

永田 雄大さん

湯原監督に誘われて始めました。ボールを蹴るのは小学生の頃以来ですが、一緒に楽しめる仲間ができたことが嬉しく、苦手だった人との会話も少しずつできるようになりました。週1回のチームの活動を、いつも楽しみにしています。



#### 活動を通じた経験や成長を生活にも生かしたい

戸上 巖夫さん

楽しみながらも熱量を持って取り組んでいるのがチームの魅力です。フットサルを通して学んだことや努力した経験を成長につなげ、それぞれの生活や仕事に生かせるようになることも目標で、私も生活に張りを感じるようになりました。



### 熊本サッカー今昔物語

(第一回)

熊本県サッカー協会は、現在設立72年を迎えています。このコーナーでは県サッカー界の歴史を振り返り、かつてを知る方々に時代と共にサッカーがどう進化し、どう地域に根付いてきたかをひも解いていただきます。「今のサッカーが、どのような歩みを経て、ここまで発展してきたかを、多くのサッカーファミリーの皆さんにも知っていただければと思います。記念すべき第1回は、前川隆道会長自ら筆を執っていただきました。」

#### 時代と共に移り変わった環境と道具 日本サッカーの発展に伴って進化

熊本県サッカー協会 会長 前川 隆道

私が現役時代だった今から約50年前、サッカーで「日本がW杯に出場する」など夢のまた夢でした。しかし、1998年のフランス大会を皮切りに7大会連続出場を果たすなど、日本サッカーを取り巻く環境は大きく変わってきました。私は、サッカーの昔と今を、「道具」という視点で振り返ってみたいと思います。

今では芝のグラウンドが数多く整備されてきましたが、昔はほとんどが「土」。大会が行われる競技場でさえ大半は土で、国体の準決勝以上でない芝のグラウンドでの試合は経験できない時代でした。現在は一般的になっている人工芝のピッチも、当初は滑りやすく、転倒してこすると火傷のようになるため、試合前にたっぷりと水をまく必要があったのを覚えています。

また、ゴールポストも以前は木製で、グラウンドに直接埋め込んでありました。そのため、バーがたわんだり、グラウンドに新たに土を入れると、その分だけポストの高さが低くなったりということも。その後、鉄製のゴールができて移動可能になったものの、重量が重く移動に多くの人手が必要で、倒れて不幸な事故が起こることもありました。

サッカーに欠かせないボールも、時代と共に大きく変わった道具の一つです。昔は、表面の皮と空気の入ったゴムチューブの部分が別々になっていて、空気を入れる作業はとも面倒でした。しかも、失敗するとまた空気をいれるところからやり直すことになったり、外の皮が使っているうちに伸びたり変形したりということもしばしばでした。現在では材質も変わり、変形などもなく扱いも楽になりましたが、何より違うのはよく飛ぶようになったことだと思います。

同じくサッカーをする上で不可欠な道具であるスパイクですが、かつては作業用の安全靴のように硬くて分厚いものでした。しかも現在のようにはスポーツ用品店の店頭に並んでいない。型取り、紙とエンピツで足型を取り、それをメーカーに送ってオーダーメイドで作ってもらうという面倒な手順でした。あの時代からすると、現在の軽くて動きやすいスパイクはとてもうらやましい(笑)。

たまに古い試合の映像などがテレビで流れると、何より違いを感じるのは選手たちの見た目、つまりユニフォームです。選手たちの体型が昔よりもスマートになっているせいもあるでしょうが、何よりデザインや機性能が洗練されています。当時のユニフォームといえば、季節によって長袖・半袖ぐらいいはあったものの、生地も重く、吸湿性・速乾性も今のものには遠く及びませんでした。また、パンツの丈も今よりもずっと短く、まさに「短パン」。そのため、スライディングすると太ももをすりむいてしまい、なかなか治らなかつたものです。ソックスも今のように入りにくく、履いたあとに上の部分もひもでしばって練習や試合中に落ちないようにしたり、使い古しの靴下を重ね履きして破れても大丈夫なようにしたりと工夫しました。

こうして振り返ると、今の若いサッカーファミリーの皆さんには、まるで想像のつかない環境でプレーしていたことがお分かりいただけるかと思えます。ただ、今も昔も変わらないのは、サッカーを愛する人たちの情熱です。これからも、県サッカー界の強化・発展のために、微力ながら尽くしていこうと思います。

# スタジアムで ロアッソ熊本を応援しよう!

**J**リーグの2021シーズンも開幕し、現在J3のロアッソ熊本も、3月14日のFC今治戦を皮切りに熱戦を展開しています。熊本県サッカー界の今後を見据えた時、地元「J」のチームがあるのではないのでは、サポーターの数や熱気はもちろんのこと、地域内の競技人口や県全体のレベル向上という面でも大きな違いがあります。また、そうしたものが、J2、J1とカテゴリーが上がるのに比例して増加・向上するのも現実です。

我らがロアッソ熊本も、ここ3年間はJ2昇格が叶わず足踏み状態が続いています。それに伴って、チームの支えとなるべきサポーターの熱気もやや下降気味です。そんな時だからこそ、私たちがスタジアムに足を運び、精一杯の応援でチームのJ2昇格を後押しする必要があります。新型コロナウイルスの感染予防策が施されたスタジアムで、他のサポーターとの距離(間隔)もしっかりと取りながら、ロアッソ熊本を応援しましょう!

## 2021明治安田生命J3リーグ／ロアッソ熊本ホームゲーム日程

節	日程	対戦相手	試合会場
第4節	4月4日(日)14:00～	<b>VS</b> テゲバジャーロ宮崎	えがお健康スタジアム
第6節	4月25日(日)14:00～	<b>VS</b> ヴァンラーレ八戸	えがお健康スタジアム
第8節	5月16日(日)14:00～	<b>VS</b> AC長野パルセイロ	えがお健康スタジアム
第10節	6月6日(日)14:00～	<b>VS</b> アスルクラロ沼津	えがお健康スタジアム
第12節	6月20日(日)19:30～	<b>VS</b> ガイナーレ鳥取	えがお健康スタジアム
第15節	7月11日(日)19:00～	<b>VS</b> いわてグルージャ盛岡	えがお健康スタジアム
第17節	9月5日(日)時間未定	<b>VS</b> FC今治	えがお健康スタジアム
第20節	9月26日(日)時間未定	<b>VS</b> 福島ユナイテッドFC	えがお健康スタジアム
第21節	10月3日(日)時間未定	<b>VS</b> 藤枝MYFC	えがお健康スタジアム
第24節	10月24日(日)時間未定	<b>VS</b> カマタマーレ讃岐	えがお健康スタジアム
第27節	11月14日(日)時間未定	<b>VS</b> カターレ富山	えがお健康スタジアム
第28節	11月21日(日)時間未定	<b>VS</b> Y.S.C.C.横浜	えがお健康スタジアム
第30節	12月5日(日)時間未定	<b>VS</b> FC岐阜	えがお健康スタジアム

■試合日程・チケットに関する詳しい情報はロアッソ熊本公式HPをチェック!

<https://roasso-k.com/>



## 「熊本県なでしこプロジェクト」進行中!

熊本県サッカー協会(以下、KFA)では、昨年からの県内の女子サッカー選手の強化並びに底辺拡大を目的とした活動「熊本県なでしこプロジェクト」を実施します。このプロジェクトは、県内の多くの女子サッカー選手が集い、互いに刺激を与え合ったり、繋がったりしながら、より高い目標に向かってチャレンジする選手を増やすとともに、熊本を元気にする人材の育成を推進することを目的としています。

「熊本県なでしこプロジェクト」では、目的別に「トレセン活動」「スクール活動」の2つの活動を実施しています。「トレセン活動」は、国体サッカー競技の「少年女子」での本大会出場を目標に、U-12からU-15選手までの育成・強化を目的としたものです。併せて、U-17カテゴリーは成年女子の国体強化事業と位置付けて活動しています。

国民体育大会では、2022年開催の第77回大会「いちご一会」とちぎ国体(栃木県)から、サッカー競技に新たに「少年女子」が創設されます。これを受け、KFAではそれまでの女子トレセン兼スクール事業を見直し、昨年からの「熊本県なでしこプロジェクト」として活動を行っています。

「熊本県なでしこプロジェクト」では、目的別に「トレセン活動」「スクール活動」の2つの活動を実施しています。「トレセン活動」は、国体サッカー競技の「少年女子」での本大会出場を目標に、U-12からU-15選手までの育成・強化を目的としたものです。併せて、U-17カテゴリーは成年女子の国体強化事業と位置付けて活動しています。

もう一つの柱は、「スクール活動」です。初心者選手向けに「はっぴー」をテーマに、サッカーを楽しむ場を提供しながら、サッカーの基礎や基本的なトレーニングを中心に、競技スポーツへの関心を促し、選手の確保(底辺拡大)に繋がります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、当初予定していた4月のトレセンの選考会や6月までの定期トレーニングなどは中止せざるを得ませんでした。7月から活動をスタート。県民総合運動公園スポーツ広場や宇城市立ふれあいスポーツセンター(宇城アカデミー)、嘉島町総合運動公園などを会場に、各カテゴリーとも月1〜2回の定期トレーニングを開催し、毎回「ボゼッション」「パス&コントロール」などテーマを設けてレベルアップに取り組んでいます。

2022年国体での本大会出場を目指す  
U12〜15年代の育成・強化の取り組み



トレセン、スクールとも、毎回20〜30人前後が参加。各回のテーマに沿って約2時間のトレーニングに励んでいます

■熊本県なでしこプロジェクトに関する詳しい情報は  
熊本県サッカー協会HPをチェック!

<https://kumamoto-fa.net/>



## Result

## 各カテゴリー大会結果報告

県サッカー協会の各カテゴリーの試合結果をお知らせします。

## 県内大会・県予選

## 〈1種 学生〉

## KFA 2020年度大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会

日程：2020/10/17～11/1  
 会場：熊本大学グラウンド 他  
 結果：Aグループ優勝／熊本大学医学部  
 Bグループ優勝／熊本学園大学

## 〈2種〉

## KFA 第99回全国高等学校サッカー選手権熊本県大会

結果：優勝／ルーテル学院高校  
 準優勝／熊本国府高校  
 第3位／大津高校、鎮西高校

## KFA 第16回熊本県高等学校女子サッカー選手権大会

結果：優勝／秀岳館高校  
 準優勝／東海大学付属熊本星翔高校  
 第3位／慶誠高校

## 令和2年度県下高校サッカー大会

結果：(男子)  
 優勝／大津高校  
 準優勝／熊本国府高校  
 第3位／秀岳館高校、鹿本高校  
 (女子)  
 優勝／秀岳館高校  
 準優勝／東海大学付属星翔高校  
 第3位／慶誠高校、ルーテル学院高校

## 〈女子〉

## KFA 第28回U-12さわやか女子サッカー大会

日程：2021/2/13～14  
 会場：熊本甲佐総合運動公園(緑川リバーサイドパーク)  
 結果：優勝／熊本ユナイテッドSCエーマ  
 準優勝／MELSA熊本FCポニータ  
 第3位／益城ルネサンス熊本FCジュニア

## JFA 第25回全日本U-15女子サッカー選手権大会熊本県大会

日程：2020/9/21～22  
 会場：熊本甲佐総合運動公園(緑川リバーサイドパーク)  
 結果：優勝／MELSA熊本FC  
 準優勝／ほくぶ総合ヴェルストレーラ  
 第3位／熊本ユナイテッドSC

## KFA 第9回熊本県U-18女子サッカー選手権大会兼KYFA 第24回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：2020/8/22～23  
 会場：熊本県民総合運動公園スポーツ広場  
 結果：優勝／MELSA熊本FCアマール  
 準優勝／益城ルネサンス熊本FC  
 第3位／熊本ユナイテッドSCフローラ

## KFA 第39回熊本県女子サッカー選手権大会兼KYFA 第38回九州女子サッカー選手権大会熊本県大会

日程：2020/8/29～30  
 会場：エコパーク水保陸上競技場  
 結果：優勝／八代フューチャーズレディース  
 準優勝／熊本ユナイテッドSCフローラ

## KFA 第30回熊本県U-12女子サッカー選手権大会兼ガールズエイト(U-12)サッカーフェスティバル第7回なでしこMIYAZAKIカップ熊本県大会

日程：2020/10/10～11  
 会場：熊本甲佐総合運動公園(緑川リバーサイドパーク)  
 結果：優勝／ピアンカスにしはら  
 準優勝／MELSA熊本FCポニータ  
 第3位／熊本ユナイテッドSCエーマ

## KFA 第46回熊日学童オリンピックサッカー競技(女子の部)

日程：2020/11/3、8  
 会場：熊本甲佐総合運動公園(緑川リバーサイドパーク)他  
 結果：優勝／ピアンカスにしはら  
 準優勝／MELSA熊本FCポニータ  
 第3位／ほくぶ総合ヴェルストレーラ

## 〈フットサル〉

## KFA 第11回九州U-15女子フットサル大会熊本県大会

日程：2020/10/4  
 会場：フットボールパーク御代志  
 結果：優勝／Fragrant熊本  
 準優勝／なかよし会

## KFA 第26回九州U-15フットサル選手権熊本県大会

日程：2020/10/3～4  
 会場：フットボールパーク御代志  
 結果：優勝／FCヴィラノーバ  
 準優勝／エスペランサ熊本U15  
 第3位／なかよし会、ヴィラノーバ水保U15

## KFA 第26回全日本フットサル選手権熊本県大会

日程：2020/10/11、18、25  
 会場：大矢野総合体育館  
 結果：優勝／エンフレンテ熊本  
 準優勝／EGOISTA

## 第6回九州ジュニアフットサル大会熊本県大会

日程：2020/11/22  
 会場：フットボールパーク御代志  
 結果：優勝／アズリーノ熊本  
 準優勝／JSCフォルサ  
 第3位／エスペランサ熊本U-12、カベッサ熊本



## 九州大会

## 〈1種 学生〉

## KYFA 第27回九州高等専門学校(U-19)サッカー大会

日程：12/19・20  
 会場：大津町運動公園  
 結果：優勝／久留米高専(福岡)  
 (熊本高専熊本キャンパス：第8位、  
 熊本高専八代キャンパス：第6位)



## 〈女子〉

## KYFA 第38回九州女子サッカー選手権大会

日程：2020/10/10～12  
 会場：SAGAサンライズパーク球技場(佐賀)  
 結果：優勝／全保連琉球デイゴス(沖縄)  
 (八代フューチャーズレディース：1回戦敗退、  
 東海大学付属熊本星翔高等学校：1回戦敗退、  
 熊本ルネサンスFC：2回戦敗退、  
 秀岳館高等学校：2回戦敗退)

## KYFA 第24回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：2020/10/17～18  
 会場：大津町運動公園多目的広場  
 結果：優勝／ANCLASノーヴァ(福岡)  
 (MELSA熊本FCアマール：準決勝敗退)

## KYFA 第5回九州U-15女子サッカー選手権大会

日程：2020/10/24～26  
 会場：永添運動公園(大分) 他  
 結果：優勝／神村学園中等部(鹿児島)  
 (MELSA熊本FCソヒア：2回戦敗退、  
 ほくぶ総合ヴェルストレーラ：1回戦敗退)

→大会結果、7ページからの続きです

**KYFA 第31回九州高等学校女子サッカー選手権大会**

日程：2020/11/7～10  
 会場：大津町運動公園多目的広場  
 結果：優勝／神村学園高等部(鹿児島)  
 (秀岳館高等学校：準決勝敗退、  
 東海大学附属熊本星翔高等学校：1回戦敗退)

**JFA U-12ガールズゲーム2020  
 KYFA第7回なでしこMIYAZAKIカップ**

日程：2020/11/22～23  
 会場：宮崎県総合運動公園サッカー・ラグビー場(宮崎)  
 結果：2位グループ・2位：ピアンカスにしはら  
 3位グループ・3位：MELSA熊本FCポニータ



**〈フットサル〉**

**KYFA 第11回九州U-15女子フットサル選手権大会**

日程：2020/11/28～29  
 会場：大矢野総合体育館  
 結果：優勝／casa okinawa ale(沖縄)  
 準優勝／アンペリアル島原(長崎)  
 第3位／Fregrant熊本、  
 HKSCリンドーゼ霧島(鹿児島)

**KYFA 第25回九州U-15フットサル大会**

日程：2020/11/28～29  
 会場：那覇市民体育館(沖縄)  
 結果：優勝／北谷中学校(沖縄)  
 準優勝／FLOREN ACE(鹿児島)  
 第3位／FCヴィラノーバ水俣(熊本)、  
 セントラルFC宮崎(宮崎)

**KYFA 第17回九州女子フットサル選手権大会**

日程：2020/9/26～27  
 会場：SAGAサンライズパーク総合体育館大競技場(佐賀)  
 結果：優勝／Primeiro熊本  
 準優勝／ALEGRE CAMINHO(佐賀)  
 第3位／ESQULA(沖縄)、  
 NODA FUTSAL CULB Claro(大分)

**全国大会**

**〈女子〉**

**JFA 第29回全日本高等学校女子サッカー選手権大会**

日程：2021/1/3～10  
 会場：三木総合防災公園、いぶきの森球技場(兵庫) 他  
 結果：優勝／藤枝順心高等学校(静岡)  
 (秀岳館高等学校：1回戦敗退)

**〈フットサル〉**

**JFA 第17回全日本女子フットサル選手権大会**

日程：2020/10/30～11/1  
 会場：よつ葉アリーナ十勝(北海道)  
 結果：優勝／SWHレディース西宮(兵庫)  
 準優勝／バルドラール浦安ラス・ポニータス(千葉)  
 (Primeiro熊本：1回戦敗退)

**トレメシ Vol.13**

**アスリートのための「トレーニング食(めし)」レシピ**

このコーナーでは、サッカープレーヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください!



春は芽吹き季節。さまざまな食材の中でも、菜の花、春キャベツ、アスパラ、タケノコ、新玉ねぎ、そら豆などの「春野菜」は、冬にため込んだパワーがぎゅっと詰まっています。特に栄養価が高いと言われています。独特の苦みを楽しみながら春野菜をたっぷり摂ることで、季節の変わり目の体調を壊しやすい時期を乗り越えましょう!

**渡邊 まみさん** / 食育料理研究家、アスリートフードマイスター  
 熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍する傍ら、熊本県民テレビ「てれびタ」にも出演中。現在、大学生の長男はサッカーをしているため、アスリートの食事にも精通。Instagram (mamipan358) で情報発信中。

**1 菜の花とあさりのパスタ**



- 材料(2人分)
- パスタ .....160g
  - 菜の花 .....2束
  - あさり .....200g
  - 白ワイン .....大さじ2
  - ニンニク .....1片
  - オリーブオイル .....大さじ2
  - 塩こしょう .....大さじ1～2
  - ブラックペッパー .....少々
  - 水 .....2カップ
  - 鷹の爪 .....1本
  - ミニトマト .....10個

**【作り方】**

- ① フライパンにオリーブオイル、ニンニクを入れて香りが立ったら、あさり、塩こしょう、鷹の爪を入れて炒める。
- ② そこにパスタと水を入れ、一度かき混ぜてからフタをして、弱火でパスタと具材と一緒に茹でる。
- ③ 表示されているパスタの茹で時間の2分ほど前になったら、菜の花、白ワインを入れて強火で炒め合わせ、最後にブラックペッパーで味を調えたら出来上がり!

普通はパスタだけを茹でますが、あさりと一緒に茹でることで魚介のうま味がしっかりと麺にも入って、あっさりなのに深い味わいに仕上がります!

**2 玄米ときな粉のベジクッキー**



- 材料(2人分)
- 玄米粉 .....100g
  - きな粉 .....100g
  - ココナッツシュガー .....50g
  - ココナッツオイル .....50cc
  - 豆乳 .....50cc
  - ベジパウダー .....20g

**【作り方】**

- ① 材料をすべてボウルに入れて混ぜ合わせる。
- ② こね上がった生地をのばして包丁で好きな大きさにカットする。
- ③ 180℃に予熱したオーブンで15分焼いて出来上がり!

アスリートにとっては、「おやつ」も重要な栄養源。食べる量は少なくても、しっかりとエネルギーになるように、栄養価の高い食材を選んで使うようにしましょう!



**「KFA NEWS」は、ここで手に入れよう!**

「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外の一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。

<http://kumamoto-fa.net/about/news/>



右記QRコードからもアクセスできます→



**編／集／後／記**

コロナ禍での生活も早1年が経ちました。大会やフェスティバルなども徐々に開かれるようになってきましたが、まだまだ多くの制限があり、厳しい状況が続いています。審判委員会でも研修会がWeb(オンライン)での開催になったり、実技がなかなか行えないなど、選手同様にモチベーションの維持が難しい状況です。以前のように思い切ったサッカーが出来る環境に、1日も早く戻りたいと願うばかりです。(廣田)

今年度は、コロナ禍での緊急事態宣言に伴い、大会の延期、練習試合の中止をせざるを得ない状況でのスタートでしたが、ようやく徐々に大会等が開催され始めました。大会は練習でのモチベーションにもつながり、選手の皆さんのトレーニングに対する意識も上がるようです。ただ、まだまだコロナ禍の状況も油断なりません。大会等の実施にあたっては、検温、消毒、名簿の提出など万全を期しており、関係者のご苦勞には感謝してもしきれません。こうした時だからこそ、今サッカーができることに感謝し、サッカーを通して選手やその家族、友人に笑顔の輪が広がっていくことを願っています。(山本)